

(8) キカラハツモドキ? (ベニタケ科チチタケ属)

観察日: 平成25年6月30日

場所: 長崎市小ヶ倉水源地

ミミブサタケが発生していた同じ場所で見つけた。傘は淡黄土色の地に濃色のあばた模様があり、ひだは垂生し密、帯黄色である。乳液は白色で変色性はない。柄は傘より淡色で、あばた状のくぼみがある。



似たきのこにキカラハツダケ、トラシマチチタケ(橋屋仮称)がある。それぞれの特徴は下表にまとめた。そこで、傘断面の写真をよく見ると、縞状斑紋があるように見える。ということは、トラシマチチタケ(橋屋仮称)なんだろうか。キカラハツモドキの傘の断面に環紋に対応する縞模様が見られる報告もあるので混乱してくる。下右のきのこの傘断面にも縞状斑紋がある。縞状斑紋だけでなく、検鏡も含めて、他の特徴も比較しないといけない。

キカラハツダケ

亜高山帯の針葉樹林に発生。傘上に綿毛状鱗片がある。柄には黄褐色のあばたがある。乳液は白色だが黄色に急速に変化する。

キカラハツモドキ

コナラ林内に発生。白液は変色しない。傘上に鱗片はない。

トラシマチチタケ(橋屋仮称)

ひだは汚橙色で著しく分枝し、傘断面は縞状斑紋があり、肉は異臭がする



トラシマチチタケ? (長与町丸田岳 20130713)

※柄に黄褐色のあばたがあるきのこ。

名前: キチチタケ?

場所: 有田市竜門ダム周囲 20131104

柄にあばた状斑紋があり、上記の3種と共通しているが、下記の特徴よりキチチタケと思われる。しかし、柄が太短いのでキチチタケかどうか疑問である。

- ・傘断面には縞状斑紋はない。
- ・傘上に綿毛状鱗片がない。
- ・乳は黄変する。



詳しくは、「平成25年度佐賀きのこ会年報」に掲載している。